

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

わたしたちは、予防医学を通じて人々の「生涯健康」、「健康寿命の延伸」をめざし、健康と福祉の向上に努めることにより、社会に貢献してまいります。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2014(平成26)年5月15日 第486号

(公財)東京都予防医学協会
予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1-2
保健会館 電話 03-3269-1131



http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行

糖尿病 正しい理解と適切な対策

第254回ヘルスケア研修会から

健診でのわずかな高血糖を 放置せずただちに治療を

糖尿病の重症化や合併症予防の鍵は、早期から適切な治療を行うことである。近年、基礎研究の成果の臨床応用や新しい治療薬の登場などによって治療効果が顕著に高まってきた。こうした中、3月19日に東京・千代田区で開催された第254回ヘルスケア研修会(主催・健康管理コンサルタントセンター、本会)では「糖尿病を正しく理解して積極的に対策を!」と題して、順天堂大学大学院医学研究科スポーツロジックセンターの河盛隆造センター長(写真)が講演し、国内外の最新の糖尿病情報を紹介した。

「糖のなかれ」 乱れることで糖尿病に

河盛隆造センター長は、まず「全身の細胞は常にブドウ糖をエネルギー源として使っているが、このブドウ糖が常に正常域にあるのは、全身

効利用されず血管内にあふれている状況が「高血糖」であり、糖尿病の治療は、ブドウ糖を全身細胞で利用させることに

より血糖応答を正常域に戻すことにある」と説明した。

健康な人の空腹時血糖値が

細胞のブドウ糖の利用率と肝臓の糖放出率が一致しているからであり、この両者を調整しているのが、膵臓から分泌



されるインスリンとグルカゴンだ。

食事を摂ると炭水化物が分解されブドウ糖になり、門脈

値が上がり、糖尿病と診断されることになる。従って「糖尿病」といっても一例一例、その病態生理は多彩である。

「インスリン分泌が低下しているのか、肝臓や筋肉でインスリンの働きが低下しているのか、肝臓や筋肉でインスリンの働きが低下しているのかなどを判定し、対処することが大切」と河盛センター長は強調する。

肥満などによるインスリンの働きの低下に対応して、膵β細胞は代償性にオートファジーを高めて肥大化するが、その状況を放置すると細胞死を引き起こすこと、さらに、わずかな高血糖が膵β細胞における亜鉛を中心としたインスリン6量体の結晶化を妨げ、その結果、インスリンが肝で容易に分解され、筋などへのインスリン供給が低下し、さらなる高血糖を呈するようになることなどについて

健診で早期に見つかった異常

種々の問題を引き起こす

わすかな異常の放置が

常を放置し、悪化してから受診するケースは少なくない。しかし、「わずかな異常のある時点からさまざまな問題が起こり始めている」と河盛センター長は訴える。

その上で、自身の研究成果を中心に糖尿病の最先端の研究結果を示しながら、軽度のインスリンの働きの低下や食後過高血糖の放置が、膵β細胞の機能低下、動脈硬化

症や認知症の発症・進行、発がんなどをもたらすことを詳しく解説。

ただでエネルギーの消費量は増える。こうした歩数計にカウントされない活動量を増やすことが大事だ」と説いた。

さらに、「治療の基本は食事と運動療法であるが、今は薬の種類も豊富である。病態に合わせてさまざまな手段を組み合わせて、①脂肪肝を解消する②液体のブドウ糖を摂り過ぎない③αグルコシダーゼ阻害薬を服用④インスリンを速やかに肝に供給する一などの手段を駆使し、食後にブドウ糖を肝に取り込ませ、一過性の高血糖を消失させることでインスリン分泌が回復し、

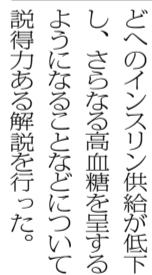
夜間の肝・糖放出率が抑制されて、夜間血糖値が下がり、乱れた「糖のなかれ」を是正できる(図)と説明した。

最後に河盛センター長は、「特に、健診では若い人の糖尿病が多く見つかる。その人たちが将来、動脈硬化症や認知症にならないためには、今行動すべきであろう。健診で見つかったわずかなインスリン抵抗性や食後高血糖を放置せず、積極的な治療につなげて欲しい」と強調し、講演を締めくくった。

食事と運動療法を基本に病態に合わせて治療

また、河盛センター長は、「インスリン分泌能力が低いという体質の人は少なくないが、インスリンの働きを低下させる肥満や身体活動の低下こそが糖尿病発症に大きく関与する。さらに、その結果としての高血糖がインスリン分泌を顕著に低下させてしまう」とし、「だから、予防としてのこまめな身体活動が重要となる。例えば、職場や家庭で立っている時間を増やす

脂肪肝を治す、単純糖質の制限、αグルコシダーゼ阻害薬を服用、インスリンを速やかに供給、グルカゴン分泌を抑制する!



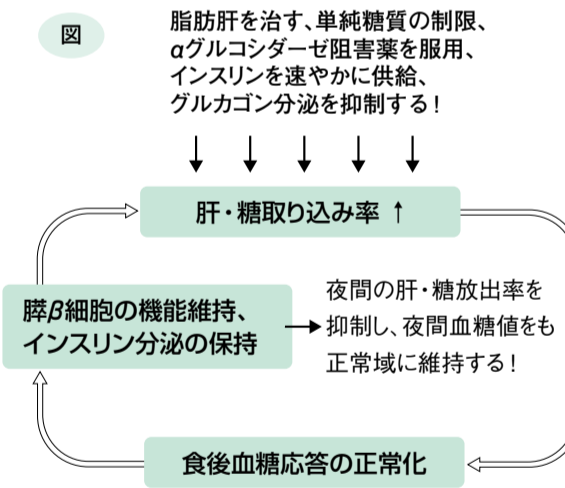
肝・糖取り込み率↑

膵β細胞の機能維持、インスリン分泌の保持

食後血糖応答の正常化

夜間の肝・糖放出率を抑制し、夜間血糖値をも正常域に維持する!

図



脂肪肝を治す、単純糖質の制限、αグルコシダーゼ阻害薬を服用、インスリンを速やかに供給、グルカゴン分泌を抑制する!

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと考えております。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江崎良晴 三輪祐一

お問い合わせ・ご相談は事務局まで(予約制)

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(公財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。

南部征喜 兵庫県予防医学協会会長

展望 健康づくり 1

4人に人が65歳以上という超高齢社会を迎え、国民の健康寿命の延伸が国をあげての課題となっている昨今、時代の求めに応じた健康づくりのあり方を考えていく必要がある。そこで、長年、保健指導をはじめとする予防医学事業に携わって、おられる兵庫県予防医学協会の南部征喜会長(写真)に、健康づくりへの展望を執筆していただいた。



年齢を重ねると過去を振り返ることが多くなり、その都度、時代の変化の早さに驚かされる。後には、当然のことながら、それらを防止するために規制がかかる。

30数年前だとと思うが、友人の名刺に印刷されたメールアドレスのもの、何のこともなく、さげすまれない。心したくない。このように、気がつけば私自身も否応なくIT社会に翻弄されている。

IT社会に生きる健診事業

13年からの「健康日本21(第2次)」と「第2期特定健診・特定保健指導」の重要課題は、健診の受診率の向上をはじめとする健康づくりの効率化である。

厚労省の提唱政策仕分け健診等の受診率向上(12年6月)では6項目の提言を行っているが、中でも「健診等受診のITセンシングを高めること」が「健診等の結果



アズビル株式会社 品川健康管理室産業医

西原亜紀子氏

1 あなたの産業医歴は?

私は福岡県北九州市の出身です。実家から最も近い大学が産業医科大学だったので、あり、「働く人」を支援する産業医(「労働と産業保健」といふ分野に徐々に興味を持つようになった)に、産業医科大学に進学しました。



2 あなたのやりたいこと、今取り組んでいることは?

その後、業種や規模の異なる企業での経験を積み、12年に現在のアズビルに転職しました。当社は、書籍「100社社員に提供してほしいこと」を参考に、事業所が分散しているため、常駐する事業所を、毎月定期的に複数の事業所を訪問しています。



医療においては個人情報

報の守秘義務は常識で、ITの普及に伴って問題が多岐に波及したため、2005年に民間が持つ個人情報保護法が施行された。

「データヘルス計画」が政府の健康・医療戦略に盛り込まれたことも追い風となった。個人情報の活用を可能にするための法整備を検討し始め、15年には個人情報保護法の改正案が国会に提出されることとなっている。

また、14年度からの「健康保険法の改正案」が国会に提出されたことを受けて、健康保険法に「健康増進の推進に関する指針」の改訂が行われている。

が良好な者にも健康な状態を維持するためのモニタリングを高める」といった視点から、向上に向けた新たな視点からの提言が行われている。

また、14年度からの「健康保険法の改正案」が国会に提出されたことを受けて、健康保険法に「健康増進の推進に関する指針」の改訂が行われている。

また、14年度からの「健康保険法の改正案」が国会に提出されたことを受けて、健康保険法に「健康増進の推進に関する指針」の改訂が行われている。

また、14年度からの「健康保険法の改正案」が国会に提出されたことを受けて、健康保険法に「健康増進の推進に関する指針」の改訂が行われている。

また、14年度からの「健康保険法の改正案」が国会に提出されたことを受けて、健康保険法に「健康増進の推進に関する指針」の改訂が行われている。

▶▶97◀◀

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

Table with 2 columns: Meal Type (朝食, 昼食, 夕食) and Food Items (e.g., ご飯, みそ汁, 納豆, 焼き魚).

谷川さんは「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「野菜の量を増やしたい」と思っています。...

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「死の四重奏」に該当する人などを対象に、2次健診として頸部エコー検査を実施して

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

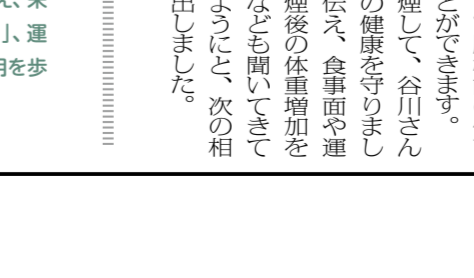
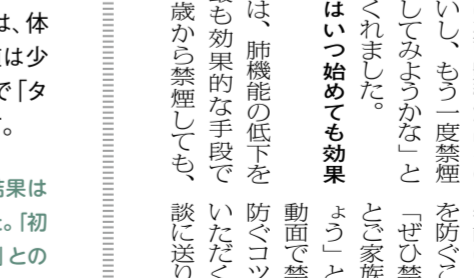
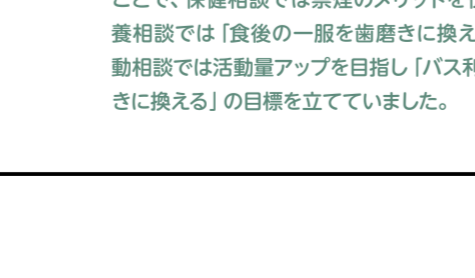
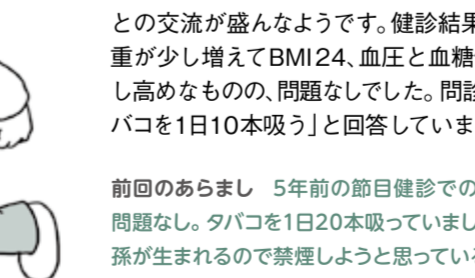
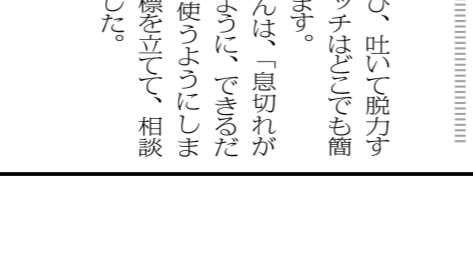
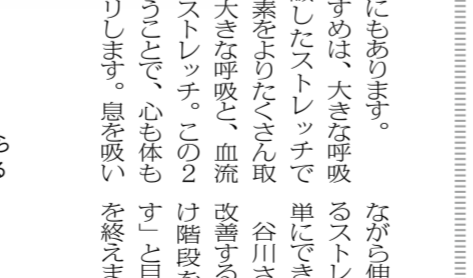
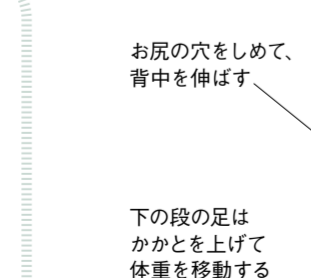
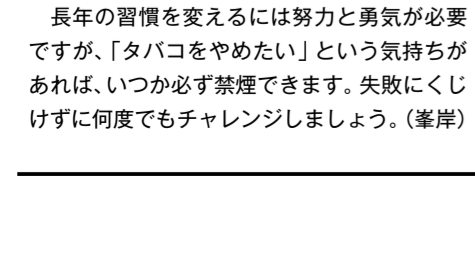
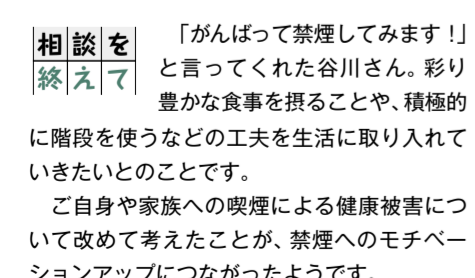
「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...

「がんはって禁煙してみます!」と言ってくれた谷川さん。...



ストップ・ザ・腎不全 CKD啓発イベント

CKD(慢性腎臓病)は、蛋白尿などの腎障害を示す所見や腎機能の低下が3カ月以上続く状態と定義される。わが国のCKDの推定患者数は約1330万人で、成人の8人に1人とされ、CKDは新たな国民病となっている。

3月9日に、東京・文京区で開催された啓発イベント「ストップ・ザ・腎不全」(主催・日本慢性腎臓病対策協議会、日本腎臓財団)では、同協議会の松尾清一理事長が挨拶し、次のように述べた。

「CKDには3つの大きな特

徴がある。1つは患者数が多いこと。2つ目は、放置すると心血管疾患や末期腎不全などを引き起こす可能性があること。3つ目は、CKDには発症前のリスクの段階、初期の段階、進行した段階などのステージがあり、各ステージに合わせて細かい治療や対策ができることである。

リスクのある人はCKDにならないように、軽度の人には進行しないように、また進行してもQOLを改善できるように、国をあげて取り組んでいるのがCKD対策である。一方で、CKDの認知度は

まだ低い。また、一部の地域では診療連携などの取り組みが行われているが、全国的な普及には至っていない。さらに、腎臓専門医の偏在などの問題もある。今後も「層別CKD対策が進展するよう」に協力を願った。

イベントでは「我が国におけるCKD有病率」(NIPPON DATA 2010より)、「エビデンスに基づくCKDガイドライン2013」改訂のポイント」などの講演が行われた他、CKD対策を行っている県の代表者が、それぞれの取り組みについて報告した。

本会と本会のユーザーが、健康づくりに役立つ情報の交換と相互交流を目的に運営している健康づくり懇話会の第19回例会が3月17日、東京・新宿区で開催され、事業所や健康保険組合の健康管理担当者や本会の職域保健事業の担当者ら約100人が参加した。例会では、富士通産業医で富士通クリニックの頭痛外来を担当している五十嵐久佳医師(写真)による講演「とっておき! 頭痛のはなし」や、本会健康増進部の鶴田浩子管理栄養士による報告「人間ドック 弁当を使った食の情報提供の試みに関するアンケート調査」などが行われた。

1次性頭痛とは頭痛そのものが病気というもので、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛などがある。2次性頭痛とは病気の1症状としての頭痛で、くも膜下出血、脳出血、脳動脈解離などがある」と述べ、講演した五十嵐久佳医師は、「頭痛の診断で一番大事なことは、2次性頭痛の原因となっている致命的な病気を見過さないことである」と強調した。



その上で、「CTやMRIを撮って2次性頭痛の心配がないと、『問題ない』として帰される場合も少なくないが、それで患者の痛みが解消されるわけではない。ここから1次性頭痛の診断と治療の始まりだ」と指摘した。

続けて五十嵐医師は、女性に多い片頭痛をはじめ、緊張型頭痛や群発頭痛の病態とそれぞれの特徴を説明し、頭痛の診断と治療が、勤務や啓発が求められていると述べた。

五十嵐医師は最後に、日本頭痛学会や日本頭痛協会のホームページで、頭痛に関するさまざまな情報が得られることを紹介し、「1次性頭痛の的確な診断と治療が、勤務

者の労働能力や生活の質を支え、ひいては生産性の向上にもつながると考えている」と述べて講演を結んだ。

例会ではこの他、本会の鶴田浩子管理栄養士が、人間ドックで提供している弁当を食育に活かすために、委託業者の協力を得て、カロリーや塩分、栄養バランスなどを工夫した「ヘルシー懐石弁当」を考案し、その目的やポイントを卓上メモや集団指導などで受診者に情報提供していることを報告した。

また、この取り組みに関して行ったアンケート調査で、肯定的な回答が多かったことから、「受診者や事業所、健康保険組合にとって有用と考えられるこの取り組みを、今後もさらに充実させていきたい」と述べた。

第19回健康づくり懇話会例会 職場でみられる頭痛への対策

的確な診断と治療で 勤労者と企業をサポート

脈解離などがある」と述べ、

「頭痛の診断で一番大事なことは、2次性頭痛の原因となっている致命的な病気を見過さないことである」と強調した。

その上で、「CTやMRIを撮って2次性頭痛の心配がないと、『問題ない』として帰される場合も少なくないが、それで患者の痛みが解消されるわけではない。ここから1次性頭痛の診断と治療の始まりだ」と指摘した。

続けて五十嵐医師は、女性に多い片頭痛をはじめ、緊張型頭痛や群発頭痛の病態とそれぞれの特徴を説明し、頭痛の診断と治療が、勤務や啓発が求められていると述べた。

五十嵐医師は最後に、日本頭痛学会や日本頭痛協会のホームページで、頭痛に関するさまざまな情報が得られることを紹介し、「1次性頭痛の的確な診断と治療が、勤務

2014年春 LOVE49 全国街頭予防・啓発アクション



LOVE49は、子宮頸がん検診の必要性を伝えることと、子宮疾患に悩む女性に医療機関への受診を呼びかけることを目的としたプロジェクト。毎年4月9日を「子宮の日」とし、さまざまな啓発活動を行っている。

今年もこの日を中心に「2014年春LOVE49 全国街頭予防・啓発アクション」(主催・LOVE49プロジェクト実行委員会、共催・細胞検査士会、後援・厚生労働省)が全国各地で行われた。

このうち東京都では4月12日、買い物客らでにぎわう台東区の松坂屋上野店の店頭や中野区のJR中野駅前広場で子宮頸がんの予防・啓発活動が行われ、本会の細胞検査士らが資料を配布し、検診の大切さを呼びかけた(写真)。

10 予防医学 相談室より

近年、健康診断などで逆流性食道炎(GERD)を指摘される人が増えています。

GERDは、胃酸などが食道に逆流して炎症を起こす疾患で、その症状は多彩です。胸焼けやげっぷ、胸や背中の痛みその他、長引かせきや咽頭の痛みなどを訴える人もいます。

因となるヒロリ菌の感染や心電図や胸部レントゲンなどで他の異常所見がなければ、GERDが疑われます。また、胃部のレントゲン検査で食道裂孔ヘルニアが見つかったり、内視鏡検査で発赤やびらん、潰瘍などが認められ、診断に結びつくこともあります。

さらに、高脂肪食を控え、肥満を解消する、姿勢を正すといった生活習慣の改善も大切です。

増えている逆流性食道炎

GERDは、胃酸などが食道に逆流して炎症を起こす疾患で、その症状は多彩です。胸焼けやげっぷ、胸や背中の痛みその他、長引かせきや咽頭の痛みなどを訴える人もいます。

一方、胃炎や胃がんの原因

お知らせ

- 第242回学校保健セミナー
7月4日(金) 15:17時
東京・新宿区ブランドヒル市ヶ谷
理解と援助
- 第242回学校保健セミナー
7月4日(金) 15:17時
東京・新宿区ブランドヒル市ヶ谷
自傷行為の理解と援助
- 第256回ヘルスケア研修会
7月9日(水) 14:16時
東京・千代田区「星陵会館」
職場における喫煙対策—
成功事例に学ぶ
- 第256回ヘルスケア研修会
7月9日(水)、東京・千代田区「星陵会館」で開かれる。
「COPDと喫煙について(仮題)」をテーマに本会の金子昌弘呼吸器科部長が基調講演を行う他、事業所での喫煙対策に関する事例発表が行われる。司会は、職域保健・産業看護の飯島美世子主宰。参加費2000円。定員先着400人。

血圧脈波検査装置

VaSera™
VS-3000シリーズ
医療機器認証番号: 224ADBZX00086000

血管機能検査の新時代

CAVI Cardio Ankle Vascular Index (心臓足首血管指数)

● 動脈の硬さの評価
CAVIは大動脈を含む「心臓から足首」までの動脈硬化度を反映する指標で、動脈硬化が進行するほど高い値となります。また、測定時の血圧に依存しない、血管固有の硬さを評価します。

ABI Ankle Brachial Pressure Index (下肢動脈の狭窄、閉塞)

● 末梢動脈疾患(PAD)の鑑別診断・重症度判定
ABIは、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標です。PADは、心血管疾患、脳血管疾患など、他臓器障害との合併が多く見られることから、早期発見が重要とされています。

〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
● 医療機器専門メーカー **フクダ電子株式会社**